

# 大空 (生徒・保護者向け) 1号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年4月8日(水)

## 始業式講話～試練が人間力を高める～

### □本日の概要

- 私(校長)は本校の卒業生であり、宮崎西高校には特に思い入れがあります。今まで以上に素晴らしい学校にしたいという決意です。
- 校長通信を発行しますので、保護者にも見せてください。
- 学校は再開したが、新型コロナウイルスの拡大という厳しい現状がつづいており、楽観できない。新型コロナウイルス対策に必要なことを徹底し、お互いの健康を守ろう。
- 今こそ、科学的判断や正しい知識や情報に基づいた理性的行動が重要であり、新型コロナウイルスに関し、差別や偏見が絶対あってはならない。
- 何でも相談しよう。皆が社会を支えられる人になることが、人類の未来につながる。未来のために資質・能力を高めよう
- 感性(アート)が重要。温かい言葉を大切に、前向き思考でいこう。
- 試練が人間力を高める。新型コロナウイルスという試練を力を合わせ乗り越えよう。

### □校長自己紹介

本来ならば新任式を行い、本校に新しく来られた先生方を紹介するところですが、放送による始業式となりました。先生方の紹介は改めて考えます。

声だけの対面になりましたが、自己紹介をします。4月1日に校長として赴任した川越淳一です。昭和52年(1977年)に、私は宮崎西高校の生徒としてこの学校で学びました。私は4回生になります。皆さん方からすると、ずいぶん昔の先輩というところになります。

平成4年から11年には、今度は国語の先生として宮崎西高校に8年間勤務しました。その頃はまだ附属中学校がなかった時代です。皆さんの保護者や親戚の方で、39歳から45歳くらいの年齢の宮崎西高校卒業生がいらっしゃったら、ひよっとしたら私のことを知っているかもしれません。

そして令和の時代、3回目の宮崎西高校・附属中学校で校長になりました。私が現在の職業を志した

のも、高校時代に、ある国語の先生と出会ったからです。(この話は後日します。)教師として成長したのも、この宮崎西高校に勤務したからです。私にとって、この宮崎西高校は特別な学校であり、思い入れがあります。今まで素晴らしい学校でしたが、今まで以上に素晴らしい学校にしたいという決意です。頑張ります。

先生の思いは、校長通信として発行しますので、保護者の方々にも見せてくださいね。

### □学校再開について

本日より学校が再開しました。学校としても、今日まで感染防止の対策や準備をしてきました。しかし、現状は、新型コロナウイルスの世界的な流行が続いており、終息がいつになるのか分からない状態です。この宮崎でも緊張した状態が続いています。以前は若い人は感染しにくいと思われていましたが、そうではないことが分かってきました。潜伏期間が長く、感染しても発症しない人もいることから、自分が気づかぬうちに人に感染させる危険があります。軽症の人もいますが、重篤になる人もいるため、今、私たちができることは、感染しない、させない努力を徹底することです。

今後の発生状況によっては、再び休校になることもあり得ます。この後、環境保健部より具体的な指導がありますので、予防対策を徹底してください。

### □科学的判断、正しい知識や情報を分析する力、 理性的行動の重要性、差別偏見の厳禁

今は非常に大変で、苦しい時です。しかし、今ほど、科学的な判断、正しい知識や情報を分析する力、理性的行動の重要性が問われる時はありません。先日、インターネットの書き込みをきっかけに、トイレトペーパーの買いだめが起きましたが、十分な在庫があると報道されていながら、人は買いだめに走りました。恐らく、慢性的な不安状態にあったため、買いだめをしている人を見ると一層不安になり、買いだめの連鎖が起きたのでしょう。ネットに情報は溢れていますが、情報を分析し、正しい状況判断をする力や、感情的に行動するのではなく、理性的に行動する力が必要です。(今は、行動したいという

感情を抑える力と言ってもいいかもしれません。)

間違った情報は、時に差別や偏見を生みます。感染者や濃厚接触者やその家族、感染症の対策や医療従事者とその家族に対して、偏見や差別につながるような行為は断じて許されません。正しい知識を身につけ、理性的な行動をしてください。宮崎西高校・附属中学校の生徒が、範を示してください。

### 口悩んでなくても、何でも相談、未来のために自主的に資質・能力を高めよう

今、私たちは、自覚の有無に関わらず、慢性的な不安状態の中にいます。このような時は、何でも相談することです。自分の中にある思いを誰かに話すと、少しは落ち着きます。進路、勉強、健康、どんなことでもかまいません。本校は、しばらくは45分授業にします。そして、朝、および放課後を面談の時間に充てます。話を聞いてもらうだけで、人は落ち着くものです。何でも話してください。

未来は不透明な状況ですが、「今後どうなるだろう、自分の将来はどうなるだろう」と漠然と考えていても、答えは出ませんし、不安になります。しかし、「この状況の中で、私は何をなすべきか」と考えると、「自分の資質・能力を高め、社会に貢献できる人材になる」ことが必要だと思うのではないのでしょうか。

感染症に限らず、人類の歴史は様々な試練との戦いの歴史です。人類は、長い歴史の中で様々な知恵を生み出しながら、困難を乗り越えてきました。学問はその知恵の一つです。皆さんが専門知識や技能を身につけ、社会のどこかを支える人物になることが、現状の改善につながります。今回の試練を契機に、例えば、将来、医療従事者になることを志す人もいるでしょうし、ウイルスの仕組みなどを研究したり、ワクチンや特効薬を開発したいと思う人もいるでしょう。また、ICTの重要性を痛感し、新しいアプリを開発したいと思う人もいるでしょう。

世界を支えるのは、理系の人だけではありません。今は、世界が協力し、助け合わなければならない時です。グローバルな視点で、国と国をつなぐ人も必要ですし、様々な形で日本や地元宮崎を支えたり、教育に携わる人なども必要です。皆さんが、自主的に学問に取り組み、より自分の資質能力を高め、社会に貢献できる人間になることが、大げさなようですが、実は人類を救うことになるのです。

皆さんの未来は、世界の未来です。皆さんの努力が世界を救うのです。

### 口アートの重要性、前向き思考、思いやり、温かい言葉を大切に

また、このような不安な時代だからこそ、感性、すなわちアート、芸術や美意識がより重要になりま

す。不安な時代だからこそ、自然、一輪の花、音楽、温かい言葉、笑顔が私たちの心を支えます。東日本大震災のときも、多くのアーティストが様々な形で人々を支えましたね。アートを愛する余裕は忘れないでください。

温かい言葉も大切です。言葉は不完全な記号ですので、時に誤解を招きます。このように皆が不安な時期は、その人のために良かれと思った激励が、厳しい叱責に聞こえてしまうことがあります。このような時は、使う言葉も否定的な言葉を使わず、肯定的な言葉だけを選び、考え方も前向き思考、ポジティブに考えることです。



前向き思考とは、例えば200ccの容量のコップに100ccの水が入っているとします。これは、客観的な事実です。しかし、人間は事実を主観的、つまり自分の解釈を加えて把握します。このとき、前向きに解釈するのです。この水が自分が飲みたかった水だとして、「誰かが飲んでしまって半分しか残ってない」と考えると、「不満や怒り」が生じますが、「半分残っていて良かった」と考えると、「満足感や感謝」が生まれます。今、部活動などは十分にできる状況ではありませんが、今、少しでも何かができるということを前向きにとらえてください。まずはできる範囲から、安全に留意し、少しずつ進めていきましょう。

挨拶も明るくいきましょう。マスクで顔を覆っているからこそ、挨拶の言葉は普段より元気でありたいし、目や手振りで表情を作りたいですね。

### 口試練が人間力を高める

新型コロナウイルスは、私達人類に降りかかった大きな試練です。しかし、人生は試練の連続です。阪神淡路大震災の時も、東日本大震災の時も、被災された人々の苦悩は計り知れなかったと思いますが、私達は協力し、助け合い、これらの試練を乗り越えてきました。私は昨年、岩手、宮城などの被災地を視察しましたが、新しい防潮堤や町が建設され、人々が新たな生活を取り戻していました。新型コロナウイルスも同じです。皆が諦めず、努力するなら、必ずこの試練を克服できます。試練は、私達の人間力を高めます。

新型コロナウイルスに立ち向かうために、まず、この宮崎西高校・附属中学校の皆さんが、結束し、声かけあって、感染防止に努力しましょう。自分たちの未来のために、今できる努力をしましょう。先生達は、全力で皆さんを守ります。頑張りましょう。